

ごあいさつ

盛夏の候、市民の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、湖誠会に対しまして温かいご支持、ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、4月に行われました市議会議員選挙によって、新たな任期がスタートいたしました。湖誠会は、これからも市民本位の市政実現のために努力してまいります。

また、去る5月17日の招集会議において、我が会派の近藤眞弘議員が議長に、川口正徳議員が副議長に選出されました。

これまで本市議会は、会派を超えて議論することのできる文化の醸成に努めながら、先駆的な議会改革の取り組みを進め、

議会改革度ランキングでは、全国の市議会の中で4年連続1位となる高い評価を受けたところであります。

我が湖誠会は、二元代表性の一翼を担う市議会の最大会派としての自覚を持ち、市民の皆様への声を大切にしながら、住んでみたい、住み続けたいと思われる大津を築き、次の世代に引き継げるよう所属議員一同、改めて初心に立ち戻り、一丸となつて市政の発展に一意専心努力してまいります。

今後とも湖誠会ならびに会派所属議員に対し、変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

幹事長 津田 新三



前列右より

川口 正徳議員

近藤 眞弘議員

津田 新三議員

桐田 真人議員

草野 聖地議員

後列右より

竹内 基二議員

青山 三四郎議員

竹内 照夫議員

仲野 弘子議員

寺田 英幸議員

湖誠会から第93代議長、第90代副議長を選出

令和元年5月17日召集会議にて、議長の選挙が実施され、議長に近藤眞弘議員、副議長に川口正徳議員が選出されました。

二元代表制の一翼を担う地方議会の役割がより一層重要となるなかで、本市議会においても議会が担う責務を果たすため、これまでも様々な改革に取り組んでまいりました。

新たな元号のもと、今期においても議会ミッションロードマップを更に先進的な実行計画として策定できるよう議会をリードし、これまで進めてきた議会改革の歩みを止めることなく、市民のみならずにもご理解いただけるよう、前へ押し進めてまいります。

多数の市民の代表から構成される議会の役割は、市民意見を的確に捉え、議論を尽くすことです。湖国滋賀の県都として、34万大津市民一人ひとりが安全で安心、そして真に豊かさを実感できるまちづくりの実現を目指し、議員一丸となって取り組む所存ですので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



議長 近藤眞弘 議員



副議長 川口正徳 議員

大津市議会ミッションロードマップ2019が始動します

大津市議会では、これまで年度ごとに議論されてきた議会改革や政策立案について議員任期当初に、4年間を見据えた、実行目標、工程を設定します。

新しい任期がはじまった本年6月に、2022年度までを期間とした、新任期のミッションロードマップ2019の計画検討が始動しました。



今期4年間の取り組み内容を検討する「政策検討会議」が設置され、湖誠会の津田新三議員が座長に、委員に草野聖地議員が就任しました。

取り組み内容については、2つの分野があります。

議会改革分野

議会がよりその機能を果たせるよう、情報の発信、意見収集、議論の強化、効率化など、これまでの慣例にとらわれない視点で、議会改革について検討、推進します。

政策立案分野

議員提案による政策立案を実施、市政の方向を議論し、基本理念をまとめるなどとして、必要に応じ条例制定を目指します。湖誠会では、これまでにいじめ防止条例や、がん対策推進条例を提案しました。

私たち湖誠会は、みなさまとよりよい大津を目指します

大津市MAP



① 津田新三

今期、気持ちを新たに、歴史や文化を活かした次代に引き継ぐ景観づくり、商工業の振興、福祉の充実などの施策を通じ、より元気なまちづくりの実現に向けて、全力を傾注します。

幹事長



② 仲野弘子

堅田学区では県道高島大津線の仰木口交差点から東側へ延長540m幅員14mの都市計画道路3.5.101号が事業認可を受け今後通学路の安全、観光駐車場へのアクセス強化が図られ道路整備の完成に取り組めます。



③ 草野聖地

地域の皆さんが互いに協力しあって、豊かな生活がおくれるように、また、子どもたちの笑顔がひとつでも多くなるように、地元の議員として出来ることを精一杯取り組んでまいります。

幹事(会計)・政調副会長



④ 竹内照夫

皆様のご協力により、念願であった膳所駅北側駅前広場が竣工し、市内有数の交通結節点として、ますますの発展が期待されます。今期はさらに、南側駅前広場の整備による膳所駅南北の導線の強化をすすめ、利便性の向上に取り組んでまいります。



⑤ 竹内基二

子どもからお年寄りまで、すべての世代の方々が安心して楽しく暮らせるまちづくりを進めます。交通事故や災害から市民を守るための施策実現に努めます。中小企業の振興と地域観光を支援して元気な地域づくりと歴史文化を大切にしたい地域社会を実現します。



⑥ 近藤真弘

少子高齢化社会の進展に伴う人口減少局面を迎え、財政状況も厳しさを増す中、二元代表制の一翼を担う地方議会の役割が一層重要となります。多くの課題に「市民の声を反映する議会」の実現に向け、また第93代議長の重責を果たすため渾身の努力を傾注します。

議長



⑦ 寺田英幸

地域住民の『かけ橋』として生活者の視点で暮らしの声を丁寧に聞き出し、大津市の行政が『見える化』となる町づくりを真剣に取り組めます。これからも住み続けたい、と言える大津、地元地域の声を大切に、日々新(ひび)あらたなり、『利他に尽くす』政治をします。



⑧ 桐田真人

『日々 真剣勝負』
●犯罪被害者等支援の拡充
●ラグビーワールドカップ2019日本大会ナショナルチームキャンプ地の成功
●「教育先進都市・大津」の推進
●交通弱者・運転免許証自主返納者に対する移動支援の拡充
●「食育」の推進

副幹事長・政調会長



⑨ 川口正徳

大津市南部地域の活性化を目指しつつ、市民が安心・安全に暮らせ、インフラ整備や防災対策にもしっかりと取り組み、笑顔あふれる地域になるよう皆さんの声に傾聴し、大津市を始め関係機関に対し、要望活動を推進して参ります。

副議長



⑩ 青山三四郎

地形的にも南北に長く自然環境も異なり、市財政、公共施設管理も厳しい中、まちづくりの方針・計画はもちろん、将来を見据えた基礎固めを縦割りではなく行政横断的に、市民と寄り添い、議会を基軸に実行します。

6月通常会議 一般質問

※質問順に掲載しています。

Q 草野 聖地議員

市民センター機能等の見直し実施案について

今回の実施スケジュールは、来年4月に新しい制度を導入される計画である。

しかし、支所業務のピーク時に全学区で一斉導入することは、混乱も予想される。そのため、一部の支所において実現可能性調査をした上で、順次、全支所に展開するべきと考えるが、本市の見解を伺う。

A 制度的には、4月スタートを考えているが、本市においてもピーク時に職員が異動することを避けるために、人事異動の時期をずらしていることもあり、人員配置についてはそのようなことも検討していく。

Q 青山 三四郎議員

教育行政の総合行政化に関する考えについて

教員委員会制度改革により、首長は教育大綱を策定する権限が与えられ、教育長は任命権者である首長によるチェックを受ける存在となったが、このような改正について、教育行政の総合行政化に対する考えを伺う。

A 地方教育行政の責任と権限の分散、重大事態に対する危機管理体制の構築の不十分などの問題点を背景として、本市におけるいじめ事件をきっかけに総合教育会議を設置し、教育大綱を兼ねる教育振興基本計画の策定やいじめ対策、重大事態への対応、学力向上策など大津の子どもたちのために数多くの議論を重ねてきた。教育行政を開かれたものとし、民意を反映することは大変重要と考えている。

Q 津田 新三議員

中高年ひきこもりの実態調査とサポート体制の構築について

内閣府は平成30年度実施の調査により、40歳から64歳のひきこもりの人は全国に61万3千人との推計値を公表した。本市でも中高年に對するひきこもりの実態調査と結果分析を早急に行い、サポート体制の構築をすべしと考えるが見解を伺う。

A ひきこもりのアンケート調査や本年7月に県内全域で実施される同様の調査、また、今回の内閣府の調査結果を踏まえて傾向を把握し、関係部局が連携して対応するとともに、それぞれの相談窓口をホームページや広報紙などで周知していく。

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。